

簡易操作マニュアル

当製品は多機能な為、使いこなすには説明書を良く読み使用方法を覚えて下さい。
ここでは基本的な操作方法のみを説明致します。

各入力の使用状態及び呼び出しボタン登録（設定状況を記載して下さい。）

- | | | | | | | | | |
|---------|--------------------------|---------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------|--------------------------|-------|
| AV1 | <input type="checkbox"/> | 呼び出しボタン | _____ | <input type="checkbox"/> | 使用しない | | | |
| AV2 | <input type="checkbox"/> | 呼び出しボタン | _____ | <input type="checkbox"/> | 使用しない | | | |
| HDMI | <input type="checkbox"/> | 呼び出しボタン | _____ | <input type="checkbox"/> | 使用しない | | | |
| Camera1 | <input type="checkbox"/> | MENU2連打 | <input type="checkbox"/> | VOICE2連打 | <input type="checkbox"/> | ステアリングJOG2連打 | <input type="checkbox"/> | 使用しない |
| Camera2 | <input type="checkbox"/> | MENU2連打 | <input type="checkbox"/> | VOICE2連打 | <input type="checkbox"/> | ステアリングJOG2連打 | <input type="checkbox"/> | 使用しない |

AV入口に接続した映像を表示する

呼び出したいAVソースを上記のボタンを押す事で画面が切り換わります。
同じボタンを押す度に表示する画面サイズが3パターン変化します。

呼び出しボタンにはAVソースの音声再生をする純正メディアソースを登録する事でワンタッチで映像と音声を呼び出せます。
AUXやFM周波数など。

リモコン信号コントロール対応機器の接続の場合、オーディオ部左右スイッチ、ステアリングJOGなどで操作可能です。
(地デジのチャンネル変更など……)

純正画面に戻すにはiDriveコントローラーのMENU、MEDIA、COM、MAP、NAVの何れかを押します。

Camera入口に接続した映像を表示する

呼び出したいCamera入力を上記のボタンを押す事で画面が切り換わります。
表示サイズを変更するにはOPTIONボタン2連打かコントローラータッチパッド部2秒タッチです。

アルパイン製フロントカメラをFULLサイズで表示している場合はiDriveコントローラー↑スライドで表示方法が3パターン切り換え可能です。

Visual Expand Module

AT-VEM518H

MADE IN JAPAN

ver 3.0x.xx

USERS MANUAL

Expand

コントロール対応地デジはExpand、パイオニア、データシステム、パナソニック、Elut、アルパインです。
AV2入力運動でElut製DVDプレーヤーのコントロール機能を搭載しています。
HDMI入力ではExpand地デジ、Elut地デジ、デジ像のコントロール、Amazon FireTVのコントロールが可能です。
(アルパイン地デジチューナー、ElutDVDをコントロールするには別売のAT-IR335が必要です。)

- ⚠ 注意** ● 当製品は純正モニターに外部映像を入力する為の機器です。
車輦の電子機器ユニットや当製品などは高度に制御されていますが、稀に外来ノイズの影響などで正常動作が出来なくなる可能性があります。
PCやスマートフォンなどが稀にフリーズなど正常動作が出来ない不具合が起きるのと同様とお考え下さい。
当製品は音声信号を直接車輦へ入力は出来ません。設置時に車輦AUXソース、FM経由などで入力されます。
不具合については13ページをご覧ください。

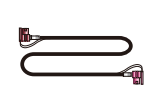
もくじ

- 1 もくじ、商品構成
- 2 VEMメニューの設定1 操作方法
- 3 VEMメニューの設定2 映像入力設定
- 4 VEMメニューの設定3 映像出力設定、リバースアクション設定
- 5 VEMメニューの設定4 その他設定
- 6 VEMメニューの設定5 メンテナンスモード、アップデート、ステータス表示
- 7 外部映像の表示方法
- 8 DVDプレーヤーコントロール(Elut)
- 9 コントロール対応地デジチューナー操作表
- 10 コントロール対応地デジチューナー操作表
- 11 デジ像のコントロール操作表
- 12 Amazon FireTVコントロール操作表
- 13 ご使用に当たって注意事項、故障かな?と思ったら1
- 14 故障かな?と思ったら2
- 15 簡易操作マニュアル(基本操作)

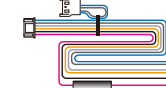
商品構成



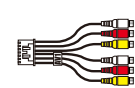
AT-VEM518H本体



HSDモニターケーブル



6P、電源/CANハーネス
(バイパスコネクタ付き)



AV入力ケーブル



AV出力ケーブル



5P、電源出力ハーネス



6P、Camera 1 変換ハーネス



3PUモコン
コントロールケーブル



UPDATE用USBケーブル



コーションステッカー



保証書



ユーザーマニュアル



セットアップマニュアル

故障かな?と思ったら2

iDriveモニター画面が映らなくなった…

この症状にはいくつかの違いがあります。下記の何れかの状態を確認して下さい。

ブラック画面に赤字で「NO SIGNAL」。オーディオは鳴っている…

何らかの理由で純正モニターが当製品がエラーを起こしたと思われます。純正オーディオ部のMODEスイッチを5秒長押しして下さい。iDriveシステムが再起動致します。iDriveコントローラーの「BACK」ボタン5秒長押しして下さい。当製品が再起動致します。

ブラック画面に赤字で「NO SIGNAL」。オーディオも止まった…

何らかの理由で純正オーディオ部がエラーを起こしたと思われます。純正オーディオ部のMODEスイッチを5秒長押しして下さい。iDriveシステムが再起動致します。

「NO SIGNAL」が表示されずに最初からブラックアウト。オーディオは鳴っている…

何らかの理由で当製品の映像出力部にエラーが発生したと思われます。iDriveコントローラーの「BACK」ボタン5秒長押しして下さい。当製品が再起動致します。

「NO SIGNAL」が表示されずに最初からブラックアウト。オーディオも止まった…

純正オーディオがオーバーヒートなどで停止した可能性があります。しばらく放置してから純正オーディオ部のMODEスイッチを5秒長押しして下さい。iDriveシステムが再起動致します。

「NO SIGNAL」となった後に完全なブラックアウト

不具合箇所の特定が出来ません…
純正オーディオ部のMODEスイッチを5秒長押しして下さい。iDriveシステムが再起動致します。iDriveコントローラーの「BACK」ボタン5秒長押しして下さい。当製品が再起動致します。両方の再起動動作を行って下さい。

ブルースクリーンになった…

この症状にも2種類あります。当製品は当製品の外部入力表示時に映像信号が無ければブルースクリーンを表示します。また最近の純正DTVなどもエラーの際はブルースクリーンを表示するようです…

純正地デジ視聴中にブルースクリーンになった…

純正メニューやMAPIは映るのに純正地デジのみブルースクリーンですか?
純正地デジチューナーのエラーです。復帰させるには車輻を第2スリーブまで入れる必要が有ります。
※第2スリーブは車輻OFFでキーロックして約3分放置です。アンロックのままだと時間が掛かります。

外部映像機器視聴中にブルースクリーンになった…

外部映像機器視聴中にブルースクリーンになった…
純正映像に問題無く外部映像のみがブルースクリーンですか? (2画面表示などで判ります)
外部映像機器の電源を確認して下さい。また当製品までの映像信号ケーブルの接触を確認して下さい。

純正バックカメラが映らない…

バックに入れてPDCイラストなどは映るのに、本来カメラ映像が映る部分がブラックアウトしている状態ですか?
これは純正カメラユニットがエラーを起こしている状態です。復帰させるには車輻を第2スリーブまで入れる必要が有ります。
※第2スリーブは車輻OFFでキーロックして約3分放置です。アンロックのままだと時間が掛かります。

使用中にiDriveがいきなり落ちてオープニングから始まった…

何らかのエラー蓄積や自動更新でiDriveコンピューターが再起動を行った可能性が有ります。自己復帰動作ですので極稀に有ります。

純正機能に動作不具合が有る…

これは問題箇所の切り分けが必要です。当製品は新車時に装着するケースが多いと思われませんが、不具合の発生原因元が当製品なのか、純正側の何らかのユニットなのかを切り分ける必要があります。車輻に搭載の個々の電子モジュールと当製品のマッチング(相性)が良く無い場合にも不具合を誘発する可能性は有ります。相性問題の場合は不具合内容や発生状況にある程度関連性が有ったりします。必ず発生する場合や頻度が高く発生する場合はディーラーや取り付け業者にご相談下さい。極稀に起きる場合は割り切りが必要です。(先に書いた外来ノイズなどの可能性が高い)

極稀に不具合が発生する…

これは避けられないかも知れません…PCやスマートフォンなどが時々正常動作出来ない時が有ると同じ感じです。車輻の電子機器や当製品などは高度な電子技術の集合体です。外来ノイズなどが想定を超えた場合は不具合が出る可能性は有ります。車輻にもEMC対策の不十分な製品は取り付けないようにして下さい。ドラレコ、5V電源変換、LED類など…設計が不十分でノイズを発している場合が有ります。

※その他、不具合っぽいかな?と思われる事などが有りましたら弊社へお問い合わせ下さい。
また装着されている製品のプログラムVerをご確認下さい。
HPで公開しているVerより古い場合はUPDATEで改善する可能性も有ります。(更新内容もHP記載してあります)

※装着した外部機器に特化した部分は外部機器の取説をご確認下さい。

ご使用に当たって注意事項

極稀に正常動作出来ない場合が発生する可能性が有ります。

現在の車輛は各電子機器が高度に制御されたバス信号で通信されています。稀に起きる不具合などで再現方法が確定出来ない症状の場合は外来ノイズの影響を受けている場合があります。
(※違法無線機搭載車輛やEMC対策の不十分な電子機器搭載など、ノイズを発生している機器搭載車輛とのずれ違いなど)
当製品はEMC対策なども十分に行い、地デジチューナーやGPSへの干渉なども起こらないように設計しています。
製品のプログラム上でも動作に不具合を検知した場合は自動的に復帰動作するように設計しています。
車輛純正の電子ユニット類でも稀に誤動作や再起動が起きる場合があるのも外来ノイズの悪影響と思われる。
パソコンやスマートフォンが時々フリーズしたりすると同じように現在の多機能な電子機器ではある程度避けられない現象です。
ご了承ください。

当製品のキャンセラー機能をONで使用する場合の弊害について

ナビの走行中の操作や純正DVDなどの走行中の視聴を行うには、純正のセーフティ機能を解除する必要があります。
セーフティ機能を解除するにはオーディオユニットが極低速走行以下と判断するようにスピード信号を誤魔化しています。

※疑似信号はオーディオユニットのみに向けて送信しています。

この信号を元に動作する機能は全て影響を受ける事になります。
キャンセラーユニットタイプで純正セーフティ機能を制御するにはこの方法以外には有りません。
他社製キャンセラーなどでも詳細な告知がされていないだけで同様な弊害は起きています。
一番気になる弊害としてはナビのルート案内の音声タイミングが少し遅れる事です。
当製品では、少しでも弊害を少なくする為の対策を行っています。
当製品経由の外部映像を視聴中はキャンセラー機能がONである必要は有りません。そのような状態の時に自動的にOFFにして弊害を最小限とする動作をしています。
この為純正DVDなど純正機能を走行中に視聴するには弊害は避けられません。ご了承ください。

故障かな?と思ったら

HDMIが映らない・・・

当製品のHDMI入力ポートは720pの映像信号をサポートします。接続した機器の映像出力設定を確認して下さい。

他のHDMI機器などを接続してみて表示されるか確認します。
接続するケーブルによってはノイズシールドが悪く表示出来ない場合があります。特にMHLケーブルなどは車載用で設計された製品を使用して下さい。

HDMIが乱れた・・・

映像出力中に接続を解除したりすると最後の映像が乱れた状態で表示され続ける場合があります。ご了承ください。
表示中に画面サイズ変更を行うと同期を取り直す為、少しの間画像が乱れる場合があります。

AV入力切り換え時、時々ポップノイズが出ます・・・

現在選択しているAVソースで無音状態となっている時に入力切り換えを行って音声信号有りになった場合にポップノイズが発生する場合があります。ご了承ください。
音声信号有り→音声信号有りのソース切り換えでは発生しないはず。

外部入力を呼び出せなくなった・・・

まずiDriveコントローラーの「MENU」ボタンの長押しでVEMメニューが表示されるか確認して下さい。

VEMメニューが表示されない・・・

当製品がメンテナンスモード状態か本体故障かヒューズ切れです。
まずキーOFFで約1分放置(スタータースイッチのLED消灯後約5秒)した後に再起動して運転席ドアの開閉動作を行ってください。その後iDriveコントローラーのMENUボタン長押しでVEMメニューが表示されればメンテナンスモード中だったと言う事です。それを行ってもVEMメニューが呼び出せない場合は点検が必要です。ヒューズ切れなどで当製品が動作出来ない場合は信号系は全てバイパス状態となっておりますので純正側機能には問題は有りません。





VEMメニューは表示される・・・

何らかの設定ミスで入力の呼び出しボタンが未設定になっている可能性が有ります。VEMメニューからその入力の呼び出しボタンの設定を行ってください。





VEMメニューの操作

車輛を起動してiDriveコントローラーのMENUボタンを長押しします。
当製品のVEMメニュー画面に切り換わります。画面右下にプログラムVerが表示されています。
iDriveコントローラーのダイヤルを回すと赤枠アイコンが移動します。
赤枠アイコンでどのような設定が出来るのか説明文が画面上部に表示されますので確認しながら操作して下さい。
iDriveコントローラーのダイヤルプッシュで決定動作となります。
既に設定されている項目はハイトーンアイコンで表示されています。また使用不可の機能はトーンダウンしたアイコンで表示されています。
複数設定出来る項目はハイトーンの状態から再度選択で解除されます。



-  入力設定(2ページ、3ページ)
当製品の各入力のON/OFF他、詳細設定を行います
-  出力設定(4ページ)
リヤモニターを接続した際の出力設定を行います。
-  リバースアクション設定(4ページ、5ページ)
リバース時などに当製品にどのようなアクションをさせるか設定します。
-  その他設定(5ページ)
リモート信号設定やセーフティ機能の設定、アンビエントコントロールの設定などを行います。

タッチパネル付きモニター車輛ではタッチパネル操作も可能です。
純正メニュー画面の左上に有るHOMEアイコンを約2秒タッチすると当製品のVEMメニュー画面に切り換わります。
アイコンをタッチすると赤枠が移動して、そのアイコンでどのような設定が出来るのか説明文が画面上部に表示されます。
赤枠アイコンを再度タッチすると決定動作となります。

-  ステータスモニター(6ページ)
車輛状態をグラフィカルに表示するステータスマニターの表示用アイコンです。
-  メンテナンスモード(6ページ)
ディーラーなどでメカニックの方が作業する際に使用します。ユーザー様が行う事は有りません。
-  プログラムアップデート(6ページ)
当製品のプログラムUPDATEを行う場合に入ります。詳細は弊社HPを参照して下さい。
-  前の画面に戻ります。
※「戻る」アイコン操作の代わりにiDriveコントローラーの「BACK」ボタンでも戻れます。

映像入力設定

各入力のON/OFF設定

デフォルトでは各入力が「使用する」設定ですが、接続しない入力は「使用しない」に切り換えます。
※「使用しない」を選択した時点で呼び出しボタン設定が破棄されます。再度「使用する」を選択した場合は呼び出しボタン設定をして下さい。
HDMI入力は720pでの信号入力をサポートします。接続する機器が対応している必要があります。

AV2とCamera2はどちらか片方のみ使用可能です。デフォルトではAV2となっております。
Camera2を「使用する」とした場合、AV2は強制的に「使用しない」となります。
この部分はインストーラーが適切な設定をしています。変更して適切な動作が出来なくなる場合があります。

AV2ではAV1同様の設定方法となりますが、リモコン信号コントロール機能はありません。
Camera2ではCamera1同様の設定方法となりますが、Camera2専用電源コントロール機能はありません。

AV入力とCamera入力の違い

AV入力では、AV1、AV2、HDMIがAVセレクターとして機能致します。表示画面サイズは全て引き継がれます。
Camera入力では、Camera1、Camera2の表示サイズは個別に記憶します。
AV入力を視聴中に切り換えても音声は継続して出力されます。
リヤモニター出力にはCamera映像は出力されません。

映像入力設定

ラストソース



このアイコンを選択しますと、車輻起動後に前回最後に表示していたソースを自動的に呼び出してくれるようになります。
この機能がOFFの場合は車輻起動後は必ず純正画面状態を維持します。※デフォルトではOFFです。

呼び出しボタンの設定



各入力呼び出しボタンを設定します。デフォルトでは下記のようになっています。

AV1	プログラマブルボタン1
AV2	プログラマブルボタン2
HDMI	プログラマブルボタン3
Camera1	iDriveコントローラーMENU2連打

AV系ソースはプログラマブルボタン1～6で設定出来ます。(同一入力の複数登録も可能です)
Cameraは「MENU2連打」「VOICE2連打」「JOGプッシュ2連打」で設定出来ます。
(同一入力の複数登録も可能です)

※登録した呼び出しボタンには、純正機能のショートカットを登録します。AUXやFM周波数など。

※他入力で使用されているボタンを選択すると上書き登録されますので、元のソース側を再設定して下さい。
※呼び出しボタンは先の入力ON/OFF設定で「使用しない」を選択した時点で破棄されますので再度「使用する」にした場合は設定し直して下さい。

各入力のOSD設定



各入力呼び出しすると画面左上に1秒間OSDマークが表示されます。
この表示するマークの文字を選択します。

※OSDが表示されている1秒間は他の操作を受け付けません。消えてから操作して下さい。
※設定で「使用しない」も選択可能です。
※Camera入力にバックカメラを装着してリバースアクションで呼び出される場合はOSD表示されません。

IR信号設定 この部分はインストーラーが適切な設定をしています。変更して適切な動作が出来なくなる場合があります。



AV1やHDMI入力には特定の製品のリモコン信号出力対応となっています。
取り付けした機器に合わせて設定しますと車輻スイッチである程度のコントロールが出来るようになります。

Camera 1 入力専用電源 この部分はインストーラーが適切な設定をしています。変更して適切な動作が出来なくなる場合があります。



Camera 1 入力には専用の電源出力があります。その出力タイミングを設定します。
デフォルトではCamera LINKです。

Camera LINK

Cameraを表示する時に電源を出力します。Cameraを接続する際の設定です。

IG-ON LINK

IG-ONで電源を出力します。レーダー探知などに使用すると便利です。

CAN LINK

車輻がスリープから起きると電源を出力します。ドライブレコーダーなどに使用すると便利です。

View Point機能



登録したい場所でアイコンを選択しますとその地点が登録されます。
登録地点の半径約30mで動作します。



登録したい場所でアイコンを選択しますとその地点が登録されます。
登録地点の半径約50mで動作します。

※純正MAPの自車位置修正機能を利用している設定も可能ですが詳しい設定方法などは弊社HPの製品のページをご覧ください。

画質調整

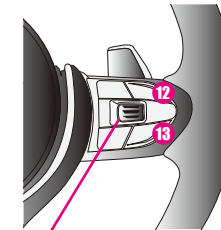
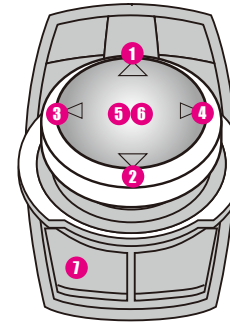


各入力は個別に画質調整が可能です。個々に希望の画質に調整してご使用下さい。
画質調整アイコンを選択しますと、そのソースの映像に切り換わります。画面上部に調整項目が表示されます。
iDriveコントローラーを左右にスライドしますと調整項目(赤色)が移動します。ダイヤルを回す事で調整を行います。調整が終わったら「戻る」アイコンでVEMメニューに戻ります。※HDMI入力には画質調整はありません。

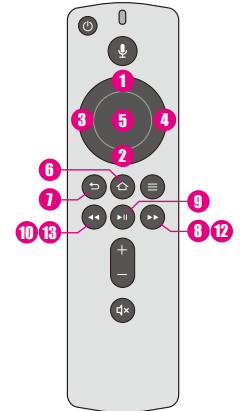
Amazon FireTVのコントロール

HDMI端子にAmazon FireTVを接続しますとHDMIケーブル内の機器通信機能を利用して車両スイッチにて操作する事が可能です。

エキスパートモード以外ではiDriveコントローラーは純正機能操作を優先する為に純正画面が観える状態の時はiDriveコントローラーでの操作は停止します。iDriveコントローラー以外のスイッチは有効です。



UP 次 ボタン信号
DOWN 前 ボタン信号



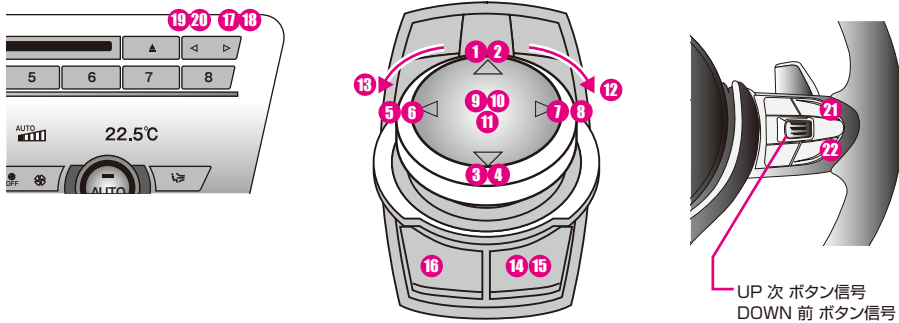
ダイヤル↑スライド	1 短スライド	リモコンの↑ボタン
ダイヤル↓スライド	2 短スライド	リモコンの↓ボタン
ダイヤル←スライド	3 短スライド	リモコンの←ボタン
ダイヤル→スライド	4 短スライド	リモコンの→ボタン
ダイヤルプッシュ	5 短押し	リモコンの決定ボタン
ダイヤルプッシュ	6 2回連打	リモコンのHOMEボタン
BACKボタン	7 短押し	リモコンの戻るボタン
オーディオ部→ボタン	8 短押し	リモコンの▶▶ボタン
オーディオ部→ボタン	9 長押し	再生信号
オーディオ部←ボタン	10 短押し	リモコンの◀◀ボタン
オーディオ部←ボタン	11 長押し	
ステアリング↑	12	リモコンの▶▶ボタン
ステアリング↓	13	リモコンの◀◀ボタン
JOGプッシュ	14	再生信号

※コントロール機能はVEM設定でHDMI入力のIR信号設定を「NOT USE」を選択している時のみHDMI-CEC機能を利用して操作可能です。

青系の背景部分の操作はFULL画面表示時、エキスパートモード時のみ有効です。

デジ像のコントロール

デジ像をFULL画面で表示中、及びエキスパートモードで使用中は下記の操作が車輻スイッチで行えるようになります。エキスパートモード以外ではiDriveコントローラーは純正機能操作を優先する為に純正画面が観える状態の時はiDriveコントローラーでの操作は停止します。iDriveコントローラー以外のスイッチは有効です。



UP 次 ボタン信号
DOWN 前 ボタン信号

1	ダイヤル↑スライド	短スライド	リモコンの↑ボタン信号
2	ダイヤル↑スライド	長スライド	
3	ダイヤル↓スライド	短スライド	リモコンの↓ボタン信号
4	ダイヤル↓スライド	長スライド	
5	ダイヤル←スライド	短スライド	リモコンの←ボタン信号
6	ダイヤル←スライド	長スライド	
7	ダイヤル→スライド	短スライド	リモコンの→ボタン信号
8	ダイヤル→スライド	長スライド	
9	ダイヤルプッシュ	2連打	リモコンのホームボタン信号
10	ダイヤルプッシュ	短押し	リモコンのOKボタン信号
11	ダイヤルプッシュ	長押し	リモコンのサーチボタン信号
12	ダイヤル右回転	右回転	リモコンの早送りボタン信号
13	ダイヤル左回転	左回転	リモコンの早戻しボタン信号
14	OPTION短押し	短押し	リモコンのオプションボタン信号
15	OPTION長押し	長押し	リモコンの情報ボタン信号
16	BACK短押し	短押し	リモコンの戻るボタン信号
17	オーディオ部→	短押し	リモコンの早送りボタン信号
18	オーディオ部→	長押し	リモコンの再生ボタン信号
19	オーディオ部←	短押し	リモコンの早戻しボタン信号
20	オーディオ部←	長押し	リモコンの停止ボタン信号
21	ステアリング部↑		リモコンの次ボタン信号
22	ステアリング部↓		リモコンの前ボタン信号

青系の背景部分の操作はFULL画面表示時、エキスパートモード時のみ有効です。

映像出力設定

当製品は接続したAV機器の映像以外に純正映像の出力も可能です。フロントで外部AV機器を視聴中は同じソースがリヤモニターにも出力されます。フロント側を純正MAPなどに切り換えても継続して外部映像の視聴が可能です。リヤモニター出力を純正映像に切り換えるにはiDriveコントローラーの「MEDIA」ボタンを押して純正AVソースの切り換えを行って下さい。「MEDIA」ボタンを押す事で純正映像に切り換わりますので「MENU」ボタンから純正AVソースの切り換えを行っても、リヤモニターは外部映像のままです。

※リヤモニター出力には当製品のカメラ入力の外部映像は表示されません。
※HQ Linkリヤモニターを使用の場合はコンポジットリヤモニター出力は使用出来ません。

純正映像出力設定

コンポジット映像出力に接続したリヤモニターに純正映像を表示するサイズ選択を行う項目です。



MAIN

iDriveを2画面で表示している場合の左側のMAIN部分のみを出力します。(2画面で使用する純正DVDなどの時)



FULL

iDrive全体を出力しますが輻に詰まった映像となります。

※この出力設定はiDriveコントローラーのMEDIAボタンの長押しをする事で切り換え出来ます。フロントモニター右下にOSD表示が出ます。



CENTER

iDriveを1画面で表示している場合のセンター部分のみを出力します。(純正DVDなどの時)

純正映像切り換え呼び出し設定

リヤモニター出力を純正映像に切り換える動作をプログラマブルボタンに登録出来ます。登録したボタンに純正DVDや純正TVに登録しておけばワンタッチでリヤモニターにも同じ映像を出力する事が可能です。iDriveコントローラーのMEDIAボタンでリヤ純正映像に切り換わるのは常に有効です。

※複数のボタン登録が出来ますので純正DVDと純正地デジを別けて登録も便利です。

HQ Link設定

専用のリヤモニターを接続した場合の設定です。



フロント側で選択した外部AVソースと同じソースがリヤモニターへ出力されます。



フロントモニターで視聴のソースとは別にリヤモニター側でソース選択出来るようになります。フロント側で選択されている音声車が輻側から流れますが、リヤモニターが別ソースを選択した場合、リヤモニターのヘッドホン端子よりの音声出力されますのでヘッドホンでお楽しみ下さい。(純正AVソース除く)

※HQ Linkについて
この端子は弊社独自の映像/音声出力端子で専用のリヤモニターを接続します。(AT-TM088R)BMW同様の8:3比率の横長モニターとなっており、フロントのiDriveモニターに映る画面同様にリヤにも映る事が可能です。特に純正映像の出力では、一般的なコンポジット信号での表示ではヒントのボタのような表示になってしまうのですが、HQ Linkではクッキリと鮮やかに表示されます。

※純正映像の出力についてはiDriveモニター同様の8:3比率の為、FULL固定での出力となります。

リバースアクション設定

リバースアクション設定 この部分はインストーラーが適切な設定をしています。変更して適切な動作が出来なくなる場合があります。



外部映像視聴中にバックギヤに入れた時などの画面を切り換える動作の設定です。



純正バックアシスト装備付き車輻の設定です。カメラやPDC画面を消す操作で元の画面に戻ります。



純正バックアシスト装備付き車輻に外部カメラも装着した場合の便利な表示方法です。画面の一部にCamera 1映像が小窓表示されます。

※リバースアクション中は画面下に黄色い文字で案内が表示されます。
※モニターに純正カメラやPDCが表示される信号を検査して動作しますのでオートPDC動作にも対応しています。
(6シリアルではPDC優先未対応です。リバースギヤ連動のみ動作します。)

※小窓の表示位置はデフォルト位置の他、iDriveOPTIONボタンを押す事で変更可能です。



純正バックアシスト装備付き車輻に外部カメラも装着した場合の便利な表示方法です。画面の一部にCamera 2映像が小窓表示されます。



外部映像視聴中にバックに入っても無反応で外部映像を映し続けます。バックアシスト装備無し車輻での設定です。

※小窓の表示位置はデフォルト位置の他、iDriveOPTIONボタンを押す事で変更可能です。
※Camera 1、Camera 2両方使用の場合は表示中にiDriveコントローラー前後スライドで切り換え可能です。



バックに入るとCamera 1入力を呼び出します。社外バックカメラ取り付け時の設定です。本体取り付け時のDIPスイッチの設定でPDC有無を判断しFULL画面/PhyP画面が決まります。(AV2orCamera 2入力をCamera 2で使用する場合)PDC無し車輻はバックから抜くと元の画面に戻ります。PDC付きはPDC-OFFで元の画面に戻ります。



バックに入るとCamera 2入力を呼び出します。社外バックカメラ取り付け時の設定です。本体取り付け時のDIPスイッチの設定でPDC有無を判断しFULL画面/PhyP画面が決まります。(AV2orCamera 2入力をCamera 2で使用する場合)PDC無し車輻はバックから抜くと元の画面に戻ります。PDC付きはPDC-OFFで元の画面に戻ります。

※Camera 1を「使用しない」時は選択出来ません。

※Camera 2を「使用しない」時は選択出来ません。

ガイドライン設定

上記の設定で「Camera 1」「Camera 2」を選択するとこの項目が選べるようになります。

接続したバックカメラ映像にガイドラインを表示するのしないか?などの設定です。

※リバース時以外の任意呼び出しでカメラ映像を表示した場合にはライン表示しません。 ※ガイドラインはあくまでも目安です。



社外バックカメラ映像にガイドラインは表示しません。



リバース時の社外バックカメラ映像に固定タイプのガイドラインを表示します。



リバース時の社外バックカメラ映像にステアリング連動タイプの動くガイドラインを表示します。



ガイドラインの表示位置などの調整を行います。
※カメラ映像に切り換わりますので画面 上側の調整項目をiDriveコントローラーで選択操作して各項目を調整します。
項目移動は→スライド、数値変更はダイヤル操作

その他設定

リモート信号の設定 この部分はインストーラーが適切な設定をしています。変更して適切な動作が出来なくなる場合があります。

Camera Call リモート信号を使用しません。

NOT USE リモート信号の入力を検知すると設定したCamera 1入力を強制表示致します。

Camera 1

Camera 2 リモート信号の入力を検知すると設定したCamera2入力を強制表示致します。(AV2orCamera2入力をCamera2で使用の場合) 基本的にはコピテル製レーダーZ700Nsを装着するのみに最適化しています。リモート信号がある状態でiDrive操作などで消す事は可能ですが、その時は「Now,remote input」とOSD表示が出ます。再表示はリモート信号が一旦切れた後に再度入力されれば強制制約込み致します。

※強制呼び出しボタン操作でもOKですが、レーダーの場合「Now,remote input」のOSD表示が無い時は無映像の為ブルースクリーンとなります。

オペレートモード設定

Operate mode 当製品はAV1やHDMIに接続した機器のコントロール機能を搭載しています。

USE STANDARD FULL画面で視聴中はDriveコントローラーの操作信号を乗っ取り、外部機器の操作の大部分を行う事が出来ます。しかし2画面で視聴中の場合は純正映像も観る状態の為、iDriveコントローラーは純正操作の為に動作します。(オーディオ部やステアリング部は外部機器で使用可能)

USE EXPERT オペレートモードを「エキスパート」に切り換える事で2画面表示でもiDriveコントローラー操作が可能になります。この場合iDriveコントローラーがどちらの画面操作でアクティブになるか切り換えて操作する必要があります。アクティブ切り換え方法はDriveコントローラーの「MAP」ボタン2連打です。切り替える度に画面上にOSD表示され確認出来ます。

※デフォルトはスタンダードモードです。

アンビエントコントロール設定

※この機能に対応出来ない車両の場合はアイコンが出て来ません。

Ambient Light Color アンビエントライトのカラーを15秒毎に変化させます。

Ambient Light Color Change

Ambient Light Dimmer アンビエントライトのカラーと輝度を15秒毎に変化&明暗させます。

Ambient Light Dimmer Change

NOT USE選択で純正状態に戻ります。戻した時点で設定は固定されますので純正側アンビエントライト設定で好みに合わせて下さい。

2タイプメモリー機能

2Type Memory 車輻には純正機能としてキー毎にiDrive設定やA/C設定、シートポジション設定などを記憶する個人設定機能が有ります。二人でシェアしている場合など便利な機能です。

USE 当製品はどちらの個人設定が呼び出されたのかを認識して、その使用時の設定を呼び出します。

NOT USE この機能を使用しません。 ※デフォルトではOFFとなっています。 ※使用するキーが個人設定1とそれ以外の設定に分かれて設定されている必要があります。

サービス電源設定

POWER TIMING サービス電源で用意している(赤)線の出力方法を変更出来ます。

IG-ON LINK キー連動で電源出力致します。

Vehicle Wake up LINK 車輻がスリープから起きている間出力します。 ※ラストソース機能を使用する場合など、この設定で地デジなどの電源コントロールすれば、ブート中などでのブルースクリーンを避けられます。

セーフティモードについて

当製品のAV入力に接続した機器の映像を走行中に制限するかの設定です。

SAFETY VIEW **非解除** 停車中のみ視聴可能で走行中は純正画面に戻り(走行中は表示出来ません)とOSD表示されます。停車すると再び観れますが、途中で純正操作などをしてOSDが消えた状態になるとそれは既に純正状態なので戻りません。

VIEW **解除** 走行中でも視聴可能となりますが、あくまでも自己責任でお願致します。

純正セーフティについて ※この項目のアイコンがトーンダウンした表示になっている場合、この機能は利用出来ません。

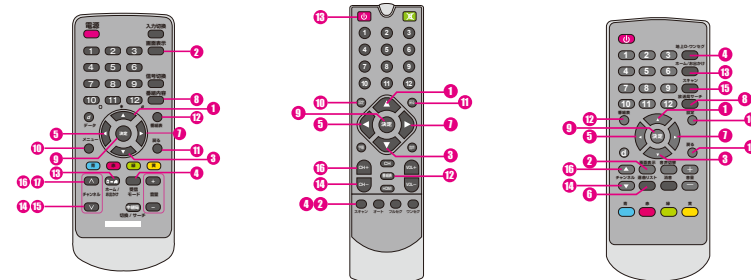
これは純正システムの走行中の制限をどうするかの設定です。

SAFETY Genuine **非解除** 純正状態です。走行中の視聴&操作に制限が入ります。

Genuine **解除** スピード信号を制御して走行中でも視聴&操作が可能となります。ナビのルート案内などのタイミングに多少ズレが起きる弊害が有ります。

Coding+ Genuine **コーディング+** 弊害をなるべく無くす為のモードでコーディングと合わせて動作するモードです。通常コーディングでは解除しても63km/hまでとなってしまうですが、このモードでは62.98km/hで制御を開始します。それ以下の速度では純正状態の為弊害は有りません。63km/h以上の速度から弊害が発生しますが更になるほどのものでは有りません。 ※このモードはコーディングされていないと全く意味を持たないモードです。

※キャンセラー機能を内蔵しているメリットとして外部映像視聴中などキャンセラー機能が必要無い状態を自動判断してOFFにする機能を搭載しています。



パナソニック

Elut

アルパイン

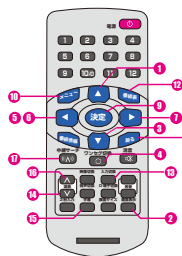
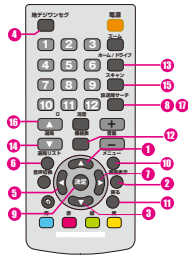
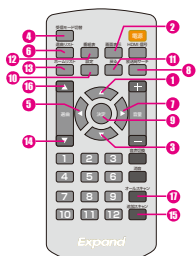
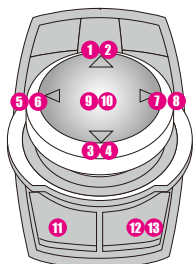
1	リモコンの↑ボタン	1	リモコンの↑ボタン	1	リモコンの↑ボタン
2	リモコンの画面表示ボタン	2	リモコンのスクランボタン	2	リモコンの画面表示ボタン
3	リモコンの↓ボタン	3	リモコンの↓ボタン	3	リモコンの↓ボタン
4	リモコンの受信モードボタン	4	リモコンのスクランボタン	4	リモコンの地上D→ワンセグボタン
5	リモコンの←ボタン	5	リモコンの←ボタン	5	リモコンの←ボタン
6	無し	6	無し	6	リモコンの適局リストボタン
7	リモコンの→ボタン	7	リモコンの→ボタン	7	リモコンの→ボタン
8	リモコンの番組内容ボタン	8	無し	8	リモコンの放送局サーチボタン
9	リモコンの決定ボタン	9	リモコンの決定ボタン	9	リモコンの決定ボタン
10	リモコンのメニューボタン	10	リモコンの設定ボタン	10	リモコンの設定ボタン
11	リモコンの戻るボタン	11	リモコンの戻るボタン	11	リモコンの戻るボタン
12	リモコンの番組表ボタン	12	リモコンの番組表ボタン	12	リモコンの番組表ボタン
13	リモコンのホームおでかけボタン	13	リモコンの電源ボタン	13	リモコンのホームおでかけボタン
14	リモコンのチャンネル↓ボタン	14	リモコンのCH-ボタン	14	リモコンのチャンネル↓ボタン
15	リモコンのチャンネル↓ボタンの長押し信号	15	リモコンのスクランボタン	15	リモコンのスクランボタン
16	リモコンのチャンネル↑ボタン	16	リモコンのCH+ボタン	16	リモコンのチャンネル↑ボタン
17	リモコンのチャンネル↑ボタンの長押し信号	17	リモコンのスクランボタン	17	リモコンの放送局サーチボタン
18	リモコンのチャンネル↑ボタン	18	リモコンのCH+ボタン	18	リモコンのチャンネル↑ボタン
19	リモコンのチャンネル↓ボタン	19	リモコンのCH-ボタン	19	リモコンのチャンネル↓ボタン

青系の背景部分の操作はFULL画面表示時、エキスパートモード時のみ有効です。

※タッチパネル搭載車輻は地デジ映像の上側/下側をタッチする事でチャンネル変更可能です。

各地デジチューナーの操作表

- 地デジをFULL画面で表示中、及びエキスパートモードで使用中は下記の操作が車輻スイッチで行えるようになります。エキスパートモード以外では、純正画面と2画面表示の場合は、純正操作を優先している為、iDriveコントローラーでの地デジの操作は停止します。オーディオ部の左右ボタンは有効ですのでチャンネル操作は可能です。



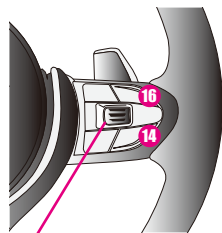
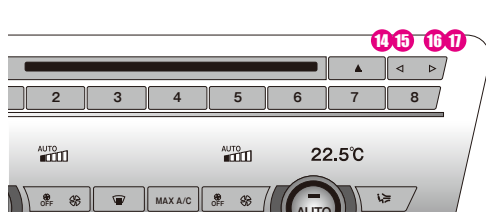
純正スイッチでの操作

Expand

パイオニア/ユニデン

データシステム

ダイヤル↑スライド	1 ショート 2 ロング	1 リモコンの↑ボタン 2 リモコンの画面表示ボタン	1 リモコンの↑ボタン 2 リモコンの画面表示ボタン	1 リモコンの↑ボタン 2 リモコンの画面表示ボタン
ダイヤル↓スライド	3 ショート 4 ロング	3 リモコンの↓ボタン 4 リモコンの受信モード切替ボタン	3 リモコンの↓ボタン 4 リモコンの地デジ→ワンセグボタン	3 リモコンの↓ボタン 4 リモコンのワンセグ切替ボタン
ダイヤル←スライド	5 ショート 6 ロング	5 リモコンの←ボタン 6 リモコンの選局リストボタン	5 リモコンの←ボタン 6 リモコンの選局リストボタン	5 リモコンの←ボタン 6 リモコンの←ボタン長押し信号
ダイヤル→スライド	7 ショート 8 ロング	7 リモコンの→ボタン 8 リモコンの放送局サーチボタン	7 リモコンの→ボタン 8 リモコンの放送局サーチボタン	7 リモコンの→ボタン 8 リモコンの→ボタン長押し信号
ダイヤルプッシュ	9 ショート 10 2回連打	9 リモコンの決定ボタン 10 リモコンの設定ボタン	9 リモコンの決定ボタン 10 リモコンのメニューボタン	9 リモコンの決定ボタン 10 リモコンの決定ボタン
BACK	11 ショート	11 リモコンの戻るボタン	11 リモコンの戻るボタン	11 リモコンの戻るボタン
OPTION	12 ショート 13 ロング	12 リモコンの番組表ボタン 13 リモコンのホームリストボタン	12 リモコンの番組表ボタン 13 リモコンのホームドライブボタン	12 リモコンの番組表ボタン 13 リモコンの入力切替ボタン
オーディオ部←ボタン	14 ショート 15 ロング	14 リモコンの選局↓ボタン 15 リモコンの追加スキャンボタン	14 リモコンのチャンネル↓ボタン 15 リモコンのスキャンボタン	14 リモコンの選局↓ボタン 15 リモコンの選局ボタン
オーディオ部→ボタン	16 ショート 17 ロング	16 リモコンの選局↑ボタン 17 リモコンのオールスキャンボタン	16 リモコンのチャンネル↑ボタン 17 リモコンの放送局サーチボタン	16 リモコンの選局↑ボタン 17 リモコンの中継局サーチボタン
ステアリング部↑ボタン	16	16 リモコンの選局↑ボタン	16 リモコンのチャンネル↑ボタン	16 リモコンの選局↑ボタン
ステアリング部↓ボタン	14	14 リモコンの選局↓ボタン	14 リモコンのチャンネル↓ボタン	14 リモコンの選局↓ボタン



※タッチパネル搭載車輻は地デジ映像の上側/下側をタッチする事でチャンネル変更可能です。

UP 選局 ↑ボタン信号
DOWN 選局 ↓ボタン信号

メンテナンスモードについて

これはユーザー様が操作する事は有りません。ディーラーなどで車輻プログラミングの際にエラーを回避する為にメカニックの方に操作してもらおうモードです。

BMWメカニックの方へ

OBDIIヘテスター接続でプログラミングを行う際はメンテナンスモードに入れて当製品の動作を停止して下さい。メンテナンスモード画面で説明文が表示されますので一読して下さい。

※画面を出さなくてもiDriveコントローラー-MENU10秒長押しでも強制的にメンテナンスモードに突入出来ます。

メンテナンスモード中は当製品は純正映像経路とCAN信号経路がバイパス状態となりステルス状態となります。メンテナンスモードが終了するまで通常動作は出来なくなっています。

メンテナンスモードを終了するには2つの条件を満たす必要が有ります。

- ① 車輻が第1スリープに突入する。(CAN信号の停止)
- ② 再起動後、運転席ドアの開閉信号を入力。

これで当製品は通常動作に戻ります。

車輻のリプログラミング時でも問題を起こさないように設計して有ります。

※車輻不具合などで問題箇所の切り分けを必要とする場合、長期的に当製品をバイパスする必要があるかと思えます。その際は、当製品本体の電源コネクタを抜きハーネスに固定してあるバイパスコネクタに差し換える必要が有ります。配線上でCAN信号がバイパスされ物理的に当製品を取り外した状態と同様になります。

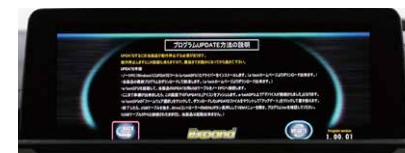
メンテナンスモード中では自動復帰させる為に純正状態に戻しつつもCAN信号の監視のみ行っています。



プログラムUPDATEについて

当製品は安定性向上やバグ修正、新たな機能の追加など改良を常に行っています。既に装着済み製品でも最新プログラムを適応する事が簡単に出来る設計となっています。車輻から取り外す必要は有りません。製品付属のUPDATE用USBケーブルとノートPCを接続して行います。UPDATEの方法に関しては、弊社HPで詳しく紹介していますのでそちらをご覧ください。

※当製品のVEMメニューを開きますと右下に現在のプログラムVerが表示されています。HPで公開のVerより古い場合はUPDATEする事で機能追加されたり安定性が向上したりします。



ステータスモードについて

タコメーター表示 トルクメーター表示 ステアリング操舵角表示
 スピード表示 油温表示 Gモニター表示
 シフトポジション表示 水温表示 ブレーキ表示
 パワーメーター表示 ヨーレート表示



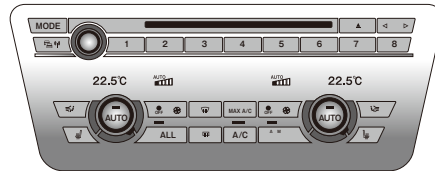
上記の表示が可能です。VEMメニューのアイコンから選択する以外に純正画面状態からiDriveコントローラーのOPTION長押しでも呼び出せます。ブレーキ表示は右下の「Expand」ロゴが変化致します。一部の表示項目はピーク値が赤ラインで表示され続けます。ピーク値は一旦ステータスモニター画面から抜ける事でリセットされます。

外部映像の表示方法

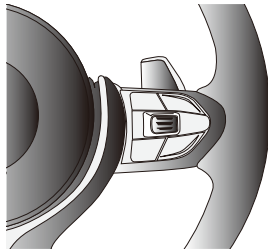
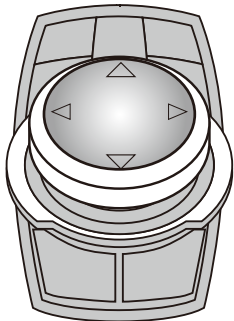
AV1、AV2、HDMI入力はVEMメニューで設定した呼び出しボタン(オーディオ部1~6)を押す事で呼び出されます。ボタンを押す度に画面サイズがFULL、MAIN、SUBと変化します。

呼び出しボタンにはAVソースの音声再生をする純正メディアソースを登録する事でワンタッチで映像と音声呼び出せます。AUXやFM周波数など、純正メディアソースのプログラブルボタンへの登録は純正機能です。ソースを選択する状態でボタン長押しで登録されます。

Camera1、Camera2入力はVEMメニューで設定した呼び出しボタン(ステアリングなど)の2連打で呼び出されます。表示サイズ変更は表示中にiDriveコントローラーのOPTIONボタン2連打でFULL、MAIN、SUBの切り換えが出来ます。また、iDriveコントローラーのタッチパッド部分を1点タッチ(約2秒)でも画面サイズ変更可能です。その他リバーアクション設定で選択した入力をリバーズ連動で表示したり、リモート信号設定で選択した入力をリモート連動で表示出来ます。



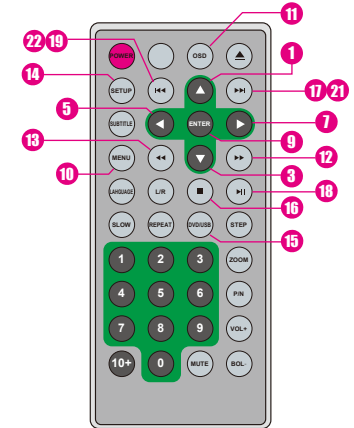
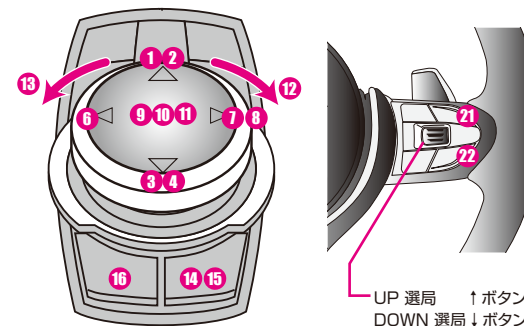
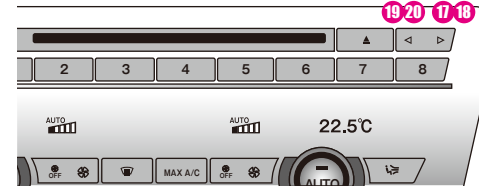
Camera1にアルパイン製フロントカメラを装着した場合、FULL表示時に限りますがiDriveコントローラー↑スライドで映像3パターン切り換えが出来ます。



AV入りに接続した機器で当製品のリモコン信号対応機器であれば車輻スイッチ類操作である程度の操作が可能になります。

Elut製DVDプレーヤーのコントロール

AV2入力の表示連動でElut製DVDプレーヤーAG401DVのコントロールが車輻スイッチで可能になります。(専用IRケーブルAT-IR335での接続が必要)
エキスパートモード以外ではiDriveコントローラーは純正機能操作を優先する為に純正画面が観える状態の時はiDriveコントローラーでの操作は停止します。iDriveコントローラー以外のスイッチは有効です。



UP 選局 ↑ ボタン/信号
DOWN 選局 ↓ ボタン/信号

ダイヤル↑スライド	1	短スライド	リモコンの↑ボタン信号
ダイヤル↑スライド	2	長スライド	
ダイヤル↓スライド	3	短スライド	リモコンの↓ボタン信号
ダイヤル↓スライド	4	長スライド	
ダイヤル←スライド	5	短スライド	リモコンの←ボタン信号
ダイヤル←スライド	6	長スライド	
ダイヤル→スライド	7	短スライド	リモコンの→ボタン信号
ダイヤル→スライド	8	長スライド	
ダイヤルプッシュ	9	短押し	リモコンのENTERボタン信号
ダイヤルプッシュ	10	2回連打	リモコンのMENUボタン信号
ダイヤルプッシュ	11	長押し	リモコンのOSDボタン信号
ダイヤル	12	右回転	リモコンの▶▶ボタン信号
ダイヤル	13	左回転	リモコンの◀◀ボタン信号
OPTIONボタン	14	短押し	リモコンのSETUPボタン信号
OPTIONボタン	15	長押し	リモコンのDVD/USBボタン信号
BACKボタン	16	短押し	リモコンの■ボタン信号
オーディオ部→ボタン	17	短押し	リモコンの▶▶▶▶ボタン信号
オーディオ部→ボタン	18	長押し	リモコンの▶▶▶▶▶▶ボタン信号
オーディオ部←ボタン	19	短押し	リモコンの◀◀◀◀ボタン信号
オーディオ部←ボタン	20	長押し	
ステアリング部↑	21		リモコンの▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶ボタン信号
ステアリング部↓	22		リモコンの◀◀◀◀◀◀◀◀◀◀ボタン信号

青系の背景部分の操作はFULL画面表示時、エキスパートモード時のみ有効です。